

2023年3月末の卒業生アンケート実施結果

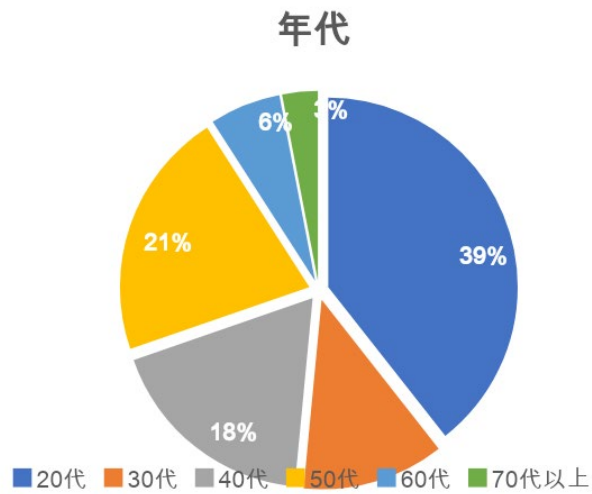
実施期間；2023年1月～3月末

対象者数：114名(2023年3月卒業生)

回答者数：33名

回答内容

1.ご自身の年代について



年代	人数
20代	13
30代	4
40代	6
50代	7
60代	2
70代以上	1

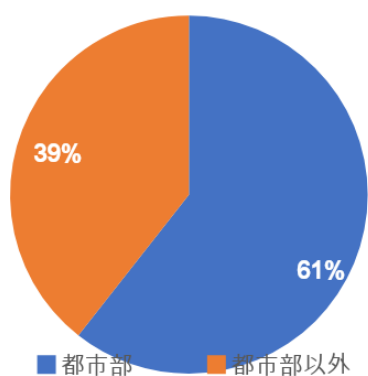
2. 現在、お住まいの都道府県について

都道府県	人数	都道府県	人数
神奈川県	7	京都府	1
東京都	5	兵庫県	1
福岡県	3	広島県	1
埼玉県	2	山口県	1

千葉県	2	佐賀県	1
大阪府	2	長崎県	1
北海道	1	大分県	1
愛知県	1	宮崎県	1
三重県	1	鹿児島県	1

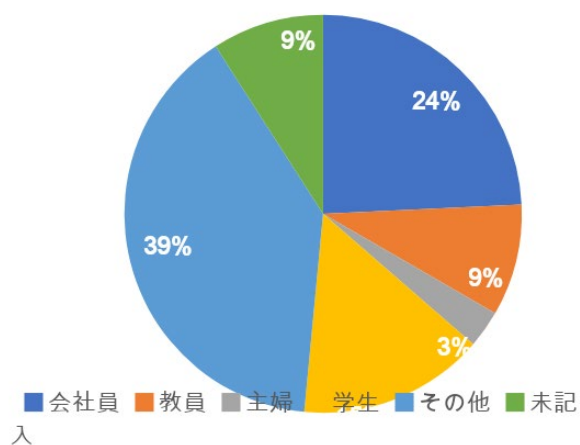
3. 現在、お住まいの地域は都市部、都市部以外のどちらか

お住まいの地域



お住まいの地域	人数
都市部	20
都市部以外	13

職業



4. 現在のご職業について

職業	人数	
会社員	8	
教員	3	
主婦	1	
学生	5	
その他	フリーター	3
	パート	2
	看護師	2
	会計年度職員	2
	大学生	1
	法人職員	1
	公務員	1
	アルバイト	1
無回答	3	

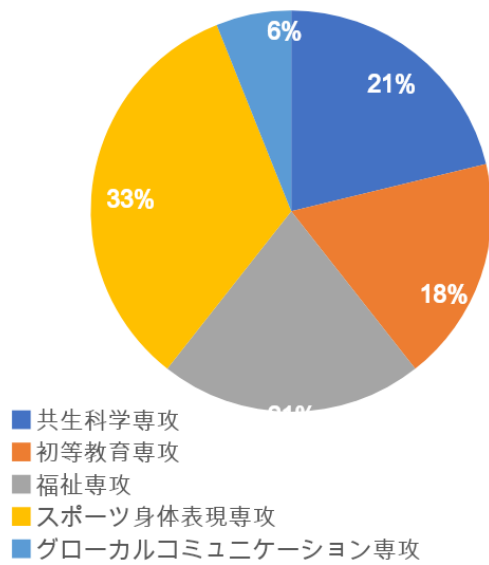
5. 卒業後の就職について、あてはまるものを1つ選択してください。

卒業後の就職について	人数
雇用の期間の定めがなく正規の職員・従業員として採用された者。条件付任用期間がある場合は当該期間終了後に正規の職員・従業員として採用される場合は対象とする。	15
自営業主等（個人営業の事業を営んでいる者及び家族の営む事業に継続的に本業として従事する者）	2
雇用の期間が1年以上で期間の定めがある者であり、かつ1週間の所定の労働期間がおおむね30～40時間程度の者。	5
上記のいずれにも当てはまらない。	10
無回答	1

6. 所属専攻について

所属専攻	人数
共生科学専攻	7
初等教育専攻	6
福祉専攻	7
スポーツ身体表現専攻	11
グローバル コミュニケーション専攻	2

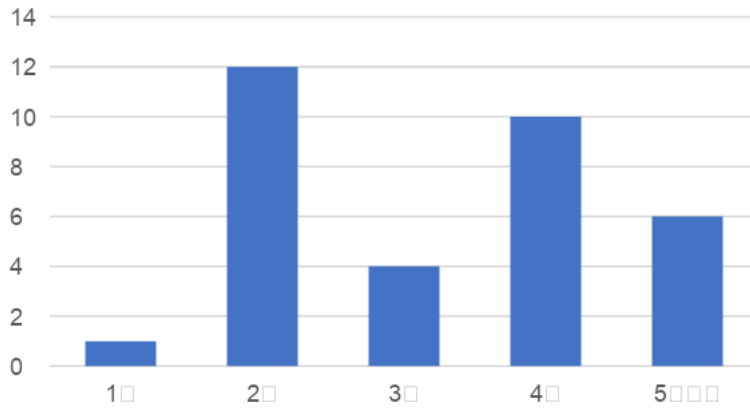
専攻



7. あなたの在籍年数について回答してください。

在籍年数	人数
1年	1
2年	12
3年	4
4年	10
5年以上	6

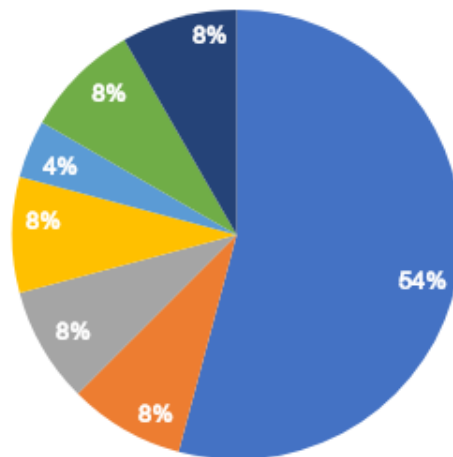
在籍年数



8. 学士以外に取得した資格がある場合はご記入ください。

※延べ数

取得した資格について



- 教員免許状
- 社会福祉士国家試験受験資格
- 社会福祉主事
- 支援教育専門士
- ASサポーター
- 准学校心理士
- 児童指導員 (任用資格)

資格名	人数
-----	----

教 員 免 許 状	教員免許状	3
	幼稚園教諭1種	1
	小学校教員免許	3
	小学校教員免許状2種	1
	中学教員免許1種(英語)	1
	中学教員免許1種(保健体育)	1
	高校教員免許1種(英語)	1
	高校教員免許1種(保健体育)	1
	特別支援学校教員免許	1
社会福祉士国家試験受験資格		2
社会福祉主事		2
支援教育専門士		2
AS サポーター		1
准学校心理士		2
児童指導員(任用資格)		2

9. 在学中の学びについて、一番あてはまるものを選んでください。

	と ても	少 し	あ ま り	ま っ た く	無 回 答
本学で学んだことについて満足していますか？	27	5	0	1	0
在学中の学びと経験を通してどの程度成長しましたか？	27	5	0	1	0
本学の教育理念(共生社会の構築)はどの程度理解できましたか？	23	8	0	1	1
本学で得た人との繋がりや人脈は、社会生活や職業生活に役立つと思いますか？/役立っていますか？	18	12	1	2	0

10. 大学での学びに関する改善・要望等について、あてはまるものすべてにチェック(✓)を入れてください。

	「役立っている」「学習・経験の機会が得られて良かった」	「足りなかった」「もっと力を入れてほしかった」
広く深い教養の修得	31	2
専門的な知識や技能（技術）の修得	30	4
実践的な知識や技能（技術）の修得	26	8
コミュニケーション力の修得	27	6
図表を活用して理解し、考え、表現する力の修得	19	13
物事を多角的、論理的に表現する力の修得	27	7
自ら考え、周囲と協力し「答えを探す・見つける」力の修得	27	6
問題を発見し、情報を集め、考える力の修得	28	5
グローバルな視点から考える力の修得	24	9
地域の視点から考える力の修得	26	7
社会生活や人間関係に必要な規範、ルール、配慮の修得	31	2
資格・免許の取得（該当者のみ）	26	2
多くの仲間との出会いや経験（全国の仲間と繋がっている）	23	11
施設実習や各種実習など実践の場との接点	19	14
ボランティア活動や地域貢献活動などの経験	24	8
国際交流など多様な文化や異文化の人々との接点	12	21
星様の理念（3つの約束）	31	2

11. 自由記述

11-1 具体的な改善や要望等がありましたらお書きください。(回答順)

- 特にありません。とても勉強になりました。
- なし。卒業論文は担当の先生に大変お世話になりました。
- 教科書を使うことがなかったので、購入させないでほしい
- レポートの評価が遅い 重要事項はポータルサイトとメールで連絡してほしい
- 特になし
- 対面スクーリングが減ったのが残念でした。コロナの為仕方ないですが。
- 公認心理師の受験資格の科目修得ができると良かったです。
- 今後、対面スクーリングが増えると思いますが、北海道にて行われる会場は、駐車場のスペースも多いため、受講生にも開放してほしいと思います。その地域の特色に応じて、柔軟に対応していただけることを願います。
- 社会福祉士以外の福祉職（精神保健福祉士等）の受験資格が得られるカリキュラムの開講していただければうれしいです。
- 卒業論文の執筆時に私の体調が優れない中、卒業に向けてのサポートをしていただいた事務局の村谷さん、論文のフィードバックを担当していただいた伊藤一美先生にとっても感謝しております。また、他の先生方からも授業を通して多くの学びを与えていただき感謝しております。
体調が悪く授業に出ることもままならない時期もある中、一時は卒業も諦めかけたのですが、先生方や家族の励ましもあり諦めず最後まで学業に取り組むことができました。自分自身が保育士として働いてきた中で感じていた社会福祉の課題に対して、解決のためのアプローチを考察することができたことは一生の宝になると思います。
星槎大学ではとても良い経験ができました。ありがとうございました。
- 星槎の理念や、授業の内容、教師の方々から学んだことはとても大きいです。どのスクーリングも、星槎の理念に基づいておこなわれており、教師の方々のお話は分

野は違って理解できることが多かったです。一方で、スクーリングのない授業は、教師とのやり取りは添削のみで、新しく学ぶことが少なく、受講する価値が感じられませんでした。特に社会福祉士受験資格に関わる授業がすべてスクーリングのない授業だったので、正しく理解できているのかわかりません。資格取得のためにとりあえずレポートを提出したという感じです。何のために受講料を払うのかもわかりませんでした。通信という形態は、本来自主学习なのでその様な形態なのでしょうが、それなら参考書や問題集をもとに知識のみを習得し、ミニテストをおこなう形式で十分ではないかと思います。スクーリングで対面式講義や教師との交流、学生同士のディスカッションがないのに、レポートを書くのは非常に難しいです。せめてオンラインで教師との対話やディスカッションの機会を1回でも入れていただきたいと感じました。

- 1. 全て zoom の授業だったので、人とのつながりを感じられない学生生活だった。
私は zoom でのコミュニケーションが苦手なので、対面で参加したかった。
- 2. 教職実践演習などは、せめて対面で行うと良かった。実際に多くの人の前で授業を行う経験をするべきではないか。
- 3. 特に私は3年生に編入し、4年度の6月に実習があったため、教職に関する授業をあまり受けていない状態での教育実習だったこともあり、4年度の教職に関する授業を全部受けてから実習を行いたかったと感じる。それを補うカリキュラムにする必要があるのではないか。4年度の教職の授業を科目修得試験まで終えることで、多くを学んだと感じる。
- 4. 学校の情報や、特に教職の様々な手続きに関しての情報発信が学校側からないことで、不安が多かった。まず、入学時にどのページを見て情報を得る必要があるのか、取得する資格ごとにガイダンスを行うべきである。例えば授業の履修に関しても、オンデマンドは4月入学者は7月31日までに視聴しなくてはいけないなど、申し込みをしてから気付くことが多くあったので、仕事をしながらの履修に関しては常に不安だった。

大切なものはメールでお知らせがあるのに、重要なものがメールで周知していなかったと感じる。例えば、教員免許申請の団体申込みのお知らせが私の教育実習の直前だったため、見逃して個人申込みとなってしまった。教職実践演習を履修している生徒は当然免許申請するものと考え、個人的にメールでお知らせして欲しかった。教育実習の前や最中は星槎のサイトを見ている暇がないことを理解してほしい。

その他、成績やコメントの見方、レポートの期限、特に卒業年のレポートや科目修得試験の期限や提出に関してなど、入学時に細かなガイダンスを行い、その後もメールにて周知すべきである。メールをしても返信がない教員もおり、通信教育であるので学生が学校や教員とのコミュニケーションを取りにくいのが前提なのに、そ

れをカバーする細かなメール配信や個々のやりとりが足りないと感じた。

- 『共生研究』申し込みの期限が『卒業関連』の所に記載されていますが分かり辛い為、卒業の為に必須の科目なのでもう少し分かりやすく案内（メールなど）があれば良かったと思いました。反省文提出で受講させて頂いた事に感謝しておりますが、他の科目と同じ時期に申し込もうとして気付いた為、厳しい叱りと反省文を強要され、忙しい中、とても辛かったです。

→卒業科目を担当している職員に確認したところ、昨年度、卒業科目履修申請書を遅れて提出した学生が多かったため、遅れた理由と反省文を提出することとなった。ただ学生からこの提出物がつらかったと指摘があり、謝罪し、その後は行わなくなったとのこと。

- 他の大学と違い通信制という事もあるので、もう少し生徒に寄り添うなどのサポート体制、授業計画の援助など生徒が分かりやすく行動出来るような環境作りなど、生徒ファーストな体制を整える事が必要だと思いました。

11-2 卒業生への支援（卒業生向けサービスを含む）への要望等がありましたら、お書きください。

- 生涯学習にもつながるので、勉強会や講演会や研修など参加できるものがあつたら、情報が欲しいと思いました。
- なし
- 卒業生がいつでも学びの場へ帰ってこれるような、学校や先生と繋がれる SNS があつたらよいかもしいない
- 自由に参加できる講義、講座等が開講していただければと思います。
最後になりましたが5年間ありがとうございました。
- 公開セミナーの紹介や専攻ごとの卒業生の交流や情報交換の場があるとよいと思います。
- 今後もアクティブラーニングの教授法を学んでいきたいので、教員希望者にそういった講座やワークショップの情報を発信してくれると嬉しい。学校勤務でないと、そういった情報を入手することが難しいのではないか。